

2 国際共同研究の実施計画

(1) 国際共同研究の主なスケジュール(Project Flow-chart)

※下記の例を参考に研究の主なスケジュールを記入（以下の例は研究期間が5年間の場合）。

※研究項目が複数ある場合は、できるだけ項目別のスケジュールや分担者が分かるように記載。

研究項目（担当機関）	研究期間（H21-H26）					
	H21年度 (10ヶ月)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度 (12ヶ月)
①地震動予測と地盤ゾーニング 【千葉大，東工大，建研，防災科研】 1) 震源モデルと地震動予測 2) 微動と強震観測に基づく表層地盤ゾーニング 3) 斜面災害に対する危険度評価		震源モデル	シナリオ地震動予測			
		地震・微動観測・地盤調査		地盤マイクロゾーニング		
	現地調査・計測		地震応答解析		ハザードマップ	
②津波予測と被害軽減 【東北大，建研，筑波大，東電設計】 1) 津波発生・伝播特性と津波災害の社会的影響の把握 2) 構造物データと被害関数を利用した構造物被害の算定 3) 津波減災技術の基盤構築		津波伝播計算		詳細浸水計算と影響把握		
	被害データ収集		被害推定手法の検討		津波被害推定	
		既往津波被害の把握と整理			減災技術基盤の構築	
③建物の耐震性向上 【建研，名大，横国大，秋田県立大】 1) 耐震データベース構築 2) 耐震診断・補強技術 3) 歴史的建築物の耐震化技術		調査，実験		データベース構築		
		耐震診断技術の開発	耐震補強技術の開発	検証実験	ガイドライン	
	調査・リスク分析		耐震化技術の開発		ガイドライン	
④空間基盤データ構築と被害予測 【東工大，千葉大，産総研，筑波大】 1) 地域空間基盤データの構築 2) 被害把握技術の構築 3) シナリオ地震に対する被害予測		データ収集	空間基盤データ構築法検討		データベース構築	
	データ収集	被害把握手法の検討			広域被害把握の実施	
		被害予測手法の検討			被害予測・マップ作成	
⑤地域減災計画と研究総括 【千葉大，東北大，建研，東工大，立命館大】 1) 研究総括と調整連携 2) 地域減災計画	WS▼	WS▼	WS▼	WS▼	WS▼	
	(WS:全体ワークショップ)					
				地域減災計画立案	教育・普及	